

授業科目 (科目ID)	手話 21i211	担当教員 (実務経験)	齊藤 千裕 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	8	時間数	16時間
授業目的	聴覚障害者に対する理解を深めると同時に様々なコミュニケーションの実態を取り上げる中で、手話に関する実技学習を進める。				
到達目標	自己紹介ができる。				
テキスト・ 参考図書等	手話資料(プリント)				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	定期試験および小テストの結果等から総合的に評価をする。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	10%			
履修上の 留意事項	手話資料(プリント)を手渡し、それらに基づいての学習となる。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション 手話実技①あいさつの手話・指文字の学習(その1)	・授業の進め方 ・コミュニケーションの取り方 ・あいさつをする ・指文字を覚える		
	2	手話実技①あいさつの手話・指文字の学習(その2)	・あいさつをする ・指文字を覚えて名前を紹介する ・家族を紹介する		
	3	手話実技①あいさつの手話・指文字の学習(その3) 自己紹介まとめ(その1)	・家族を紹介する ・自己紹介をする(氏名/家族)		
	4	手話実技②数字の表し方の学習 手話実技③地名の手話(その1)	・生年月日(誕生日)を紹介する ・年齢を紹介する ・住所を紹介する		
	5	手話実技③地名の手話(その2) 自己紹介まとめ(その2)	・住所を紹介する ・場所(建物等)を覚える ・自己紹介をする(氏名/家族/生年月日/年齢/住所)		
	6	手話実技④時の表し方の学習	・過去と現在と未来を表現する(曜日等)		
	7	手話実技⑤動きの手話	・行く ・食べる ・飲む ・増える等		
	8	手話実技まとめ	氏名/家族/生年月日/年齢/住所/過去・現在・未来/行く/食べる等		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科

授業科目 (科目ID)	病院実習Ⅱ 21i212		担当教員 (実務経験)	米田 慶子 医療事務員として医療施設に従事し、当該科目の教育を行う。 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)		時間数 90時間
授業目的	病院実習Ⅰを経て、授業で学んだ知識や技術を現場の第一線で体験し、業務内容をより深く理解する。				
到達目標	患者様や職員とコミュニケーションがとれ、与えられた業務を積極的こなすことができる。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポートおよび提出物の提出状況等から総合的に評価をする。		
	レポート	30%			
	小テスト	%			
	提出物	60%			
	その他	10%			
履修上の留意事項	医療実務Ⅱでより実践的な事柄や注意事項および社会人としてのマナーを学んでから実習に臨む。学校で学習した内容と各医療機関でのルールが違うことがあるが、その場合は各医療機関のルールに合わせて学習すること。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	社会人の理解と実施	ビジネスマナーの理解と実施、高い対人コミュニケーション能力		
	2	社会人の理解と実施	責任感の重みと積極性の重要性		
	3	医療事務員の理解と実施	それぞれの医療機関の方針、内容の理解		
	4	医療事務員の理解と実施	積極的な患者様への対応、言葉遣い、気遣い		
	5	医療事務員の理解と実施	与えられた業務の正確性や次の業務への意欲		
	6	(以上10日間)			
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科調剤薬局コース

授業科目 (科目ID)	調剤報酬請求事務 211213		担当教員 (実務経験)	高島 蘭 医療事務員として医療施設に従事し、当該科目の教育を行う。 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 4単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	調剤報酬についての理解、薬の基礎知識や薬の副作用などの知識を習得する。				
到達目標	調剤事務管理士の合格				
テキスト・参考図書等	医科医療事務テキスト1医療保障制度、調剤薬局事務テキスト2算定とレセプト 調剤薬局事務テキスト3トレーニングブック、調剤薬局事務テキスト 資料ブック (出版 株式会社ソラスト)				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	定期試験および小テストの結果等から総合的に評価をする。		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	10%			
履修上の 留意事項	教本を中心に過去問を解きながら進めていく。病院内で薬を渡す場合と病外＝薬局で薬を渡す場合の違いを明確に区別できることが重要となる。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	調剤薬局での事務の仕事の流れ	薬局の基礎知識、調剤業務の流れ		
	2	調剤報酬算定にあたって①	処方箋の様式、記載内容		
	3	調剤報酬算定にあたって②	剤型、処方箋の記載内容、区分		
	4	調剤報酬算定にあたって③	服用時点、受付回数、1剤と1調剤		
	5	調剤報酬の算定①	薬剤算定演習(内服、屯服、外用)		
	6	調剤報酬の算定②	調剤基本料と加算(施設に対するもの)		
	7	調剤報酬の算定③	調剤基本料の加算(受付日時)		
	8	調剤報酬の算定④	調剤料の算定(内服、屯服、外用)		
	9	調剤報酬の算定⑤	調剤料の加算(麻毒、自家製剤、計量混合)		
	10	調剤報酬の算定⑥	調剤料の加算(嚥下困難者、一包化、無菌製剤処理)		
	11	調剤報酬の算定⑦	調剤料の加算(受付日時、夜間、休日など)		
	12	調剤報酬の算定⑧	調剤料の加算重複時の注意		
	13	調剤報酬の算定⑨	薬学管理料と加算		
	14	調剤報酬の算定⑩	会計表の記入方法		
15	レセプトの作成①	作成ルールと上書きの記入方法			

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	レセプトの作成②	処方、摘要、点数欄の記入方法
	17	レセプトの作成③	麻毒加算、計量混合加算など
	18	レセプトの作成④	一包化加算(複数枚同時受付)
	19	レセプトの作成⑤	受付日時(時間外、休日、深夜加算)
	20	レセプトの作成⑥	夜間、休日など加算
	21	レセプトの作成⑦	点検問題演習①
	22	レセプトの作成⑧	点検問題演習②
	23	検定対策問題①～学科	医薬品の基礎知識(開発、法令など)
	24	検定対策問題②～学科	薬物治療の概要、薬の作用と適用①
	25	検定対策問題③～学科	薬の作用と適用②
	26	検定過去問題①	管理士検定練習問題実施、解答、解説
	27	検定練習問題②	管理士検定練習問題実施、解答、解説
	28	検定過去問題③	管理士検定練習問題実施、解答、解説
	29	検定過去問題④	管理士検定練習問題実施、解答、解説
	30	検定過去問題⑤	管理士検定練習問題実施、解答、解説

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科調剤薬局コース

授業科目 (科目ID)	薬局・薬店店舗実習 21i214		担当教員 (実務経験)	米田 慶子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 医療事務員として医療施設に従事し、当該科目の教育を行う。		
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実技		授業回数(1回90分)		時間数	45時間
授業目的	薬局・薬店での医療事務業務を体験し、現場での役割を理解する。					
到達目標	病院やクリニックとの違いを説明することができ、患者様や職員とコミュニケーションがとれ、与えられた業務を積極的こなすことができる。					
テキスト・参考図書等						
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	レポートおよび提出物の提出状況等から総合的に評価をする。			
	レポート	30%				
	小テスト	%				
	提出物	60%				
	その他	10%				
履修上の留意事項	調剤薬局で実務を体験する。学校で学習した内容と各薬局・薬店でのルールが違うことがあるが、その場合は各薬局・薬店のルールに合わせて学習すること。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	社会人の理解と実施	ビジネスマナーの理解と実施、高い対人コミュニケーション能力			
	2	社会人の理解と実施	責任感の重みと積極性の重要性			
	3	調剤薬局医療事務員の理解と実施	調剤薬局の方針、内容の理解			
	4	調剤薬局医療事務員の理解と実施	積極的な患者様への対応、言葉遣い、気遣い			
	5	調剤薬局医療事務員の理解と実施	与えられた業務の正確性や次の業務への意欲			
	6	(以上5日間)				
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科調剤薬局コース

授業科目 (科目ID)	調剤コンピュータ演習 21i215		担当教員 (実務経験)	高島 繭 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 医療事務員として医療施設に従事し、当該科目の教育を行う。		
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実技		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	調剤請求事務について、コンピュータ処理方法を学ぶ。					
到達目標	正確なコンピュータによる算定ができる。					
テキスト・参考図書等	医科医療事務テキスト1医療保障制度、調剤薬局事務テキスト2算定とレセプト 調剤薬局事務テキスト3トレーニングブック、調剤薬局事務テキスト 資料ブック (出版 株式会社ソラスト)					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	定期試験および小テストの結果等から総合的に評価をする。			
	レポート	%				
	小テスト	30%				
	提出物	%				
	その他	10%				
履修上の 留意事項	教本を使用しながら調剤用ソフトを操作して進めていく。コンピュータによる調剤報酬の算定方法をしっかりと理解すること。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	コンピュータ操作方法	PC内の調剤コンピュータソフトの保存場所など			
	2	保険登録、医療機関、医師登録	一医療機関にて複数の医師登録の際の注意点			
	3	基本情報(薬局)の設定	調剤基本料、受付時間などの設定方法			
	4	練習問題①	内服、外用薬の入力			
	5	練習問題②	屯服入力時の注意点			
	6	練習問題③	自動入力される加算と手動入力の加算			
	7	練習問題④	1剤と1調剤の入力時の注意点			
	8	練習問題⑤	一包化加算入力時の注意点			
	9	練習問題⑥	薬学管理料と加算の入力方法			
	10	練習問題⑦	摘要欄への入力方法			
	11	練習問題⑧	複数の診療科の処方箋を受付した場合			
	12	練習問題⑨	総合問題演習			
	13	練習問題⑩	総合問題演習			
	14	練習問題⑪	総合問題演習			
15	練習問題⑫	総合問題演習				

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科病棟クラークコース

授業科目 (科目ID)	病棟クラーク演習 21i216		担当教員 (実務経験)	加藤 茜 医療事務員として医療施設に従事し、当該科目の教育を行う。 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	実技		授業回数(1回90分)	30	時間数 60時間
授業目的	看護、患者を理解し病棟内の業務の円滑な進め方を理解する。病棟内で扱う煩雑且つ膨大な業務と書類の整理整頓の仕方を学ぶ。				
到達目標	医学の知識、診療報酬の請求法、コミュニケーションの技術を発揮することができる。				
テキスト・参考図書等	プリント配付				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	定期試験の結果、提出物の提出状況等から総合的に評価をする。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	30%			
	その他	10%			
履修上の留意事項	実技を中心に、医学的な知識やコミュニケーション能力を学んでいく。教材と各施設で使用する書類は異なる場合があることを理解すること。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション、からだの名称	看護業務と事務作業について、部位、消化管、骨の名称		
	2	病棟クラークとは、病院組織について	各部門の役割、各診療科の主な症状や傷病名などの特徴		
	3	病棟クラークの役割	仕事の内容、必要な知識、能力		
	4	病棟クラーク業務手順(入院説明)	入院説明に関するロールプレイング(患者役とクラーク役)		
	5	病棟クラーク業務手順(ベッドサイドでの入院スケジュール)	入院中スケジュールに関するロールプレイング(患者役とクラーク役)		
	6	病棟クラーク業務手順(バイタルチェック)	血圧測定器の使い方、血圧測定、体温測定、脈拍測定(患者役とクラーク役)		
	7	病棟クラーク業務手順(食事介助)	嚥下困難者への対応、両手が不自由な方への対応		
	8	病棟クラーク業務手順(病棟談話室の環境整備)	指示がある場合と無い場合の整備、クレーム処理		
	9	病棟クラーク業務手順(外来待合室の環境整備)	指示がある場合と無い場合の整備、クレーム処理		
	10	生活習慣病三大疾病	基礎知識と病気の原因		
	11	高血圧症の入院患者、外来患者	血圧測定、循環器科の患者の特徴		
	12	糖尿病の入院患者・外来患者	糖尿病患者の特徴、病棟クラークとの関わり		
	13	三大疾病、栄養とカロリーについて	三大疾病のまとめ、管理栄養士の仕事の理解、栄養室でのクラーク業務		
	14	病棟クラーク業務手順(診療科の案内)	外来クラークとしての案内の仕方、適切な対応、説明		
15	病棟クラーク業務手順(待合室、診療室前)	待合室での外来クラークの仕事、適切な対応、クレーム処理			

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	病棟クラーク業務手順(診察の順番、待ち時間)	待ち時間での外来クラークの仕事、適切な対応、クレーム処理
	17	病棟クラーク業務手順(特定健康診査)	特定健康診査の流れ、記録票への記入
	18	病棟クラーク業務手順(医局の事務作業)	書類の分類とスケジュール管理
	19	ドクターズクラーク業務(院内連携業務)	他部門への正確な報告、適切な言葉遣い
	20	ドクターズクラーク業務(医師の指示)	指示内容の聞き取り、理解
	21	振り返り①	小テスト対策
	22	振り返り②	小テスト対策
	23	振り返り③	小テスト対策、小テスト
	24	病棟クラーク業務手順(メディカルマッサージ・認知症予防テスト)	安楽促進ケア、アロマオイルを用いたマッサージ、脳トレ体験
	25	病棟クラーク業務手順(車イスへの移乗、移送)	ベッドから車イスへの移乗、移送介助
	26	病棟クラーク業務手順(内服薬のピッキング作業)	院内処方箋の理解、薬袋作成、ピッキング
	27	病棟クラーク業務手順(文書作成)	紹介状の入力代行、封筒の宛名作成、FAX送付状
	28	病棟クラーク業務まとめ①	組織、各部門、病棟クラークの振り返り
	29	病棟クラーク業務まとめ②	演習内容の振り返り
30	病棟クラーク業務まとめ③	演習内容の振り返り	

授業科目 (科目ID)	小児コミュニケーション 21i217		担当教員 (実務経験)	平原 由衣 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 保育士として保育園に従事し、当該科目の教育を行う。	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	子どもの発達段階や特質を理論的に理解する。				
到達目標	子どもの日常の姿を観察し、状況に応じた子どもの関わり方、援助ができる。				
テキスト・ 参考図書等	フェルト、刺繍糸、裁縫道具				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポートおよび提出物の提出状況等から総合的に評価をする。		
	レポート	30%			
	小テスト	%			
	提出物	60%			
	その他	10%			
履修上の 留意事項	座学と実技を交えながら展開をしていき、保育園実習に備える。理論的な学びと実践が組み込まれた授業内容になっているので、意欲的に取り組んで欲しい。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	授業の流れ、小児とは、コミュニケーションとは		
	2	子どもの発達①	子どもの育ちと理解		
	3	子どもの発達②	障害のある子の理解①		
	4	子どもの発達③	障害のある子の理解②		
	5	子どもの心をつかむ①	可愛い制作物①		
	6	子どもの心をつかむ②	可愛い制作物②		
	7	子どもの発達④	子どもと言葉① 絵本		
	8	子どもの発達⑤	子どもと言葉② 絵本		
	9	子どもの心をつかむ③	名札作成①		
	10	子どもの心をつかむ④	名札作成②		
	11	現場体験に向けて	一日保育園体験事前指導		
	12	現場体験	一日保育園体験学習		
	13	現場体験	一日保育園体験学習		
	14	現場体験	一日保育園体験学習		
15	現場体験	一日保育園体験学習			

授業科目 (科目ID)	小児発達 21i218	担当教員 (実務経験)	石村 信実 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 看護師として医療施設に従事し、当該科目の教育を行う。		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	子どもの健全育成に関する基本的理論と実践上の思考・知識について学習する。				
到達目標	小児について特に「小児の主な病気」について説明することができる。				
テキスト・参考図書等	子どもの保健 第7版 追補(出版 株式会社 診断と治療社) プリント配付				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	定期試験の結果、提出物の提出状況等から総合的に評価をする。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	30%			
	その他	10%			
履修上の 留意事項	テキスト、プリントを中心に板書しながら展開していく。板書されないことでも、重要だと感じたことは積極的に書き取りをすること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	母性の育成 小児とは	妊娠・出産に関する知識		
	2	小児保健の概念 母子保健対策	子供の特徴 子ども期の区分 子ども保健の意義・実践 母子健康手帳 予防接種 医療対策		
	3	新生児の生理的特徴 低出生体重児の生理的特徴	出生体重・身長・生理的体重減少 低出生体重児とは		
	4	低出生体重児の養護 身体発達	低出生体重児とは 新生児の養護 小児の身体発育		
	5	その評価法	パーセントイル値 カウプ指数 ローレル指数		
	6	機能の発達・観察	生理機能 運動機能 精神機能		
	7	栄養と食行動	幼児期の栄養		
	8	環境と生活	子どもの生活環境		
	9	小児の主な病気 感染症 ウィルス	小児の病気の特徴 ウィルス感染		
	10	小児の主な病気 細菌 その他	症状と看護 細菌感染		
	11	小児の主な病気 先天異常 アレルギー性の病気	先天性心疾患 甲状腺機能低下症 股関節脱臼 食物 気管支喘息 鼻炎 じんま疹		
	12	小児の主な病気 呼吸器の病気 循環器の病気	かぜ 急性扁桃炎 扁桃肥大 アデノイド 後天性心疾患 不整脈 心臓病		
	13	小児の主な病気 血液系の病気 悪性腫瘍の病気	貧血 白血病 血友病 脳腫瘍 神経芽細胞腫 腎芽腫 悪性リンパ腫		
	14	小児の主な病気 神経系の病気 その他の病気	知的障害 脳性麻痺 てんかん 小児期のトラウマ チック症 学習障害 うつ 脳腫瘍 神経芽細胞腫 腎芽腫 等		
15	看護と救急処置 保育と保健	応急手当 母子保健の現状 まとめ			

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科医療事務コース

授業科目 (科目ID)	医事コンピュータ演習Ⅱ 21i219		担当教員 (実務経験)	加藤 茜 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 医療事務員として医療施設に従事し、当該科目の教育を行う。		
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実技		授業回数(1回90分)	23	時間数	46時間
授業目的	9月に行われる医療事務コンピュータ検定2級の合格に資する力を身につける。					
到達目標	医事コンピュータ検定2級の合格					
テキスト・ 参考図書等	医科医療事務テキスト 資料ブック (出版 株式会社ソラスト) 診療点数早見表(出版 株式会社医学通信社) 医療事務コンピュータ用練習問題集(出版 日本医療事務技能検定協会) 電卓					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	定期試験の結果、提出物の提出状況等から総合的に評価をする。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	30%				
	その他	10%				
履修上の 留意事項	新たに入院についての学習を進める。決められた時間内での正確な処理が求められるため、処理方法をしっかりと覚えること。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	外来入力復習	No.11高岡 昇 … 特定疾患 No.12青沼はるか … 医学管理 皮膚科軟膏処置 投薬			
	2	入院操作説明と練習・外来問題①	入院料・食事料 … 入院問題練習 外来問題			
	3	入院操作説明と練習・外来問題②	Do機能の使い方 … 入院問題練習 外来問題			
	4	入院操作説明と練習・外来問題③	入院の初診料・医学管理料 … 入院問題練習 外来問題			
	5	入院操作説明と練習・外来問題④	入院の投薬料 … 入院問題練習 外来問題			
	6	入院操作説明と練習・外来問題⑤	入院の注射料 … 入院問題練習 外来問題			
	7	入院操作説明と練習・外来問題⑥	入院の処置料 … 入院問題練習 外来問題			
	8	入院操作説明と練習・外来問題⑦	入院の手術料 … 入院問題練習 外来問題			
	9	入院問題	入院操作まとめ			
	10	入院問題・外来問題①	ポイント説明 60分測定 解答解説			
	11	入院問題・外来問題②	ポイント説明 60分測定 解答解説			
	12	入院問題・外来問題③	ポイント説明 60分測定 解答解説			
	13	入院問題・外来問題④	ポイント説明 60分測定 解答解説			
	14	入院問題・外来問題⑤	ポイント説明 60分測定 解答解説			
15	入院問題・外来問題⑥	ポイント説明 60分測定 解答解説				

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	16	入院問題・外来問題⑦	ポイント説明 60分測定 解答解説
	17	入院問題・外来問題⑧	ポイント説明 60分測定 解答解説
	18	入院問題・外来問題⑨	ポイント説明 60分測定 解答解説
	19	入院問題・外来問題⑩	ポイント説明 60分測定 解答解説
	20	入院問題・外来問題⑪	ポイント説明 60分測定 解答解説
	21	検定対策問題①	60分測定 解答解説
	22	検定対策問題②	60分測定 解答解説
	23	検定対策問題③	60分測定 解答解説

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科医療事務コース

授業科目 (科目ID)	プレゼンテーション 21i220		担当教員 (実務経験)	宮野 ゆかり 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 情報関係企業に従事し、当該科目の教育を行う。	
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	相手に情報を伝えることは日常生活の中で必要不可欠なことである。この情報伝達をわかりやすく、より伝わりやすいように工夫する、その手法を学ぶことを目的とする。				
到達目標	パワーポイントを使い、必要な情報をわかりやすく相手に伝える準備・企画そして発表ができる。				
テキスト・参考図書等	プリント配布				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	提出物の提出状況等から総合的に評価をする。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	90%			
	その他	10%			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	授業の進め方とプレゼンテーション		
	2	パワーポイントの基礎	基本的なプレゼンテーション作成・資料収集		
	3	パワーポイントの基礎	表の作成・印刷		
	4	パワーポイントの基礎	グラフの作成・資料の構成配置		
	5	パワーポイントの基礎	図形やグラフィックの作成・シナリオ作成		
	6	パワーポイントの基礎	図の挿入・特殊効果の設定		
	7	パワーポイントの基礎	スライドの切り替え・シナリオ作成		
	8	プレゼンテーション	提案プレゼン		
	9	プレゼンテーション	紙芝居作成		
	10	プレゼンテーション	プレゼンテーションをサポートする機能		
	11	プレゼンテーション	プレゼンテーションをサポートする機能/発表プレゼン資料作成①		
	12	プレゼンテーション	プレゼンテーションをサポートする機能/発表プレゼン資料作成②		
	13	プレゼンテーション	発表プレゼン資料作成③		
	14	プレゼンテーション	発表プレゼン資料作成④		
15	プレゼンテーション	発表会			